

忘れもの

大人だって忘れものをします。
だって忘れてしまうのは「物」だけじゃないからね。

LIFESTYLE

「ゴリボン」と呼んでくれますか

生徒、下宿先、保護者からも呼ばれています
34年の感謝を込めて P6



REPORT

総合講座発表会

新たな視点や気付き、興味、可能性
未来を広げる総合講座！ P8



BOOK

自分が誰なのか 知ってるかい？

生まれ育った場所から、子すずめは初めて飛び立ちました。子すずめが知っているのは、手のひらほどの小さな巣と、そこから見える景色だけ。勇気を出して、お母さんに教えてもらったとおりに翼を羽ばたかせてみると、驚いたことに空中に浮かんでいます。それに、飛ぶってとってもおもしろいということに気が付きました。これまでは小さな巣から見るだけだった景色。この世界がどれくらい広いのかも知りませ

ん。「ぼく ひとりで、せかいじゅうを みてこれる」と、翼を動かすのです。

僕はこの物語が好きです。自分のことを忘れてしまっている、というよりも、自分のことがわかっていない人。これは子こどもだからとか、大人だからということは関係ありません。大人でもそういう人はたくさんいます。かくいう僕もその1人。自分のこと、自分では見えないし、忘れちゃうんですね。どんな人なのかとか、どんな顔をしているのかとか、どんな動きをしているのかってことを。いや、忘れるんじゃないくて、見たことないから知らないだけか……。



こすずめのぼうけん
ルース・エインズワーズ 作
石井桃子 訳 / 堀内誠一 画
福音館書店 / ¥990

LETTER

その答えは、 この本の中に

ねえ、思い出せるっていうことは、忘れていないっていうことだね。もし、まるっきりすべて記憶から忘れてしまっていたら、少しだって思い出すことなんかできないはずだもの。

だから、忘れ物っていうのは記憶の片隅に置いてあるだけで、忘れちゃいないものなんだと思う。毎日「忘れないようにしましょう」って繰り返して意識をしていると、習慣になって忘れなくなるもん。その反対に、毎日意識しないように、思い出さないように、考えないようにしていると、記憶はあいまいになっていくんじゃないかな。

この本はさ、僕たちがよく忘れてしまう「あるもの」の物語。誰もが「それ」があることを知っているし、いつも「それ」を味わっているのに、いつの間にか「それ」があることを忘れてしまう。「それ」って何だかわかるかな？ ヒントは、とっても価値があって、お金をいくら出しても買うことはできないし、自分の力ではどうすることもできないものなの。それなあんた？



BOOK

誰が こんなところに……

2つの家の間にある切り株の上に、ビスケットのかけらがひとつ。この小さな忘れ物を巡って、お隣さん同士で巻き起こる大げんか。



ついには太陽と月まで出てくる大問題になるのです。小さなことから始まる、大きな出来事。でも、すべての物事ってそうなのかもしれませんよ。誰のものでもないのだから、奪い合わずに分け合えればいいのですが、そうもいかないようです。それにしても、一体誰がこんなところにビスケットのかけらを……。

こどものとも1986年6月号
ビスケットのかけらがひとつ
こだまともこさく / 織茂恭子 え
福音館書店 / 品切中



BOOK

人間たちの忘れ物

日本でも有名なウクライナの民話です。おじいさんが落とした手袋を、動物たちが住みかにするのです。寒い冬に暖かい家は誰もが羨む場所。そんな場所があ



ったらとても安心。僕だって、自分が入れるくらい大きなふかふかの家が落ちていたら、すぐさま潜り込むことでしょう。それが誰かの忘れ物だなんてことは関係ありません。森で暮らす動物たちにとっては、なおさらのこと。こういうすてきな忘れ物なら、動物たちも大歓迎なんですけどね。

ウクライナ民話
てぶくろ
エウゲーニー・M・ラチョフ え
うちだりさこ やく
福音館書店 / ¥1,100



モモ
ミヒャエル・エンデ 作
大島かおり 訳
岩波書店 / ¥1,870



導きに感謝して

文 谷口学 / 写真 辻田美穂子

自分が高校生の頃、テレビで高校中退者を
受け入れている学校が紹介されていました。
自分が合格できるという理由で選んだ大
学進学先は、北海道教育大学岩見沢分校。4
年生の時に公立中学校教員の採用試験を受け

たのですが不採用でした。そんな折に、同じ
大学の友人のもとへ、北星余市の校長先生か
ら英語教員の求人の話が来ました。自分が卒
業旅行でアメリカに行っている間のことでし
た。その友人は就職先が決まっていたので、

谷口学 | Manabu Taniguchi

出身は北海道江別市。父の転勤で小学校時代は千歳、滝川、
釧路、そして江別に戻る。中学校ではサッカー部。道立の
大麻高校では少林寺拳法部。そして北海道教育大学岩見沢
分校に進学。1993年に北星学園余市高等学校に就職。



校長先生に自分のことを紹介してくれたので
した。話は何日も前に来ていたので、帰国し
た翌日に北星余市に電話しました。
このように、たった1日で北星余市への就
職を決めました。まずは1年間、テレビで話
題になっている学校の様子を見てみようと思
ったからです。それが一度担任を経験して
みようとなり、そのうち30年が経ちました。
多くの先生方、そして生徒たちと関われたこ
とに感謝します。

LIFESTYLE

時代の忘れ物

文 遠藤弘子

私は最近つくづく思うのです。ようやく時代が私に
追いついてきた！と。

私が中学生の時、おかしいことがたくさんありました。
なぜブルマをはかなければならないのか、なぜ自分の考え
を言ってはいけないのか、なぜ学校生活で髪型や服装が制
限されて、理由も聞かず従わなければならないのか、なぜ
このような質問をしてはいけないのか、なぜ誰も質問に答
えてくれないのか、なぜ、なぜ……。さまざまなことに疑
問を抱く自分がおかしいのではないかと感じていました。
当時の私は主体性を見失い、苦しみ、北星余市に進学しま
した。

北星余市では、さまざまな方法で教育する先生がいて、
さまざまなことに取り組む生徒がいました。先生も生徒も
個性豊か。それまで私が経験したことのない、自分らしく
いられる学校生活がありました。おかしいと思ったことや
疑問に思ったことについて、その結果がどうあれ、先生や
仲間ととことん話ができる。そんな環境を、先生や仲間た
ちが与えてくれていました。この高校生活が、現在の自分
らしく生きようとする「私」の礎です。

40歳になった今、仕事で求められることは、自由な発
想と、ほかにはない誰にも思いつかないアイデアです。「当
たり前」に疑問を持つことはおかしくないし、むしろそれ
が重要な視点であり、それを受け入れ求められる社会があ
ります。社会の在り方は、少なくとも私の子ども時代とは
大きく変化しています。中学生の私に「いずれ時代が追いつ
いてくるよ！」と伝えてあげたいです。

現代は多様性の時代。これまで受け入れられなかった価
値観などが受け入れられるようになり、少しずつ、多様な
文化や個人の考えを尊重し受け入れようとする社会に向か
っています。北星余市では数十年前から実践されてきたこ
とです。私は思います。「ようやくか」と。時代の忘れ物。
こうあってほしいと願った社会の在り方。その方向に向か
っていることが、私は今とても誇らしいのです。



遠藤弘子 | Hiroko Endo

山形県長井市出身。北星学園余市高等学校卒（34期）。大学
卒業後、小・中・高校で教員等、さまざまな立場で教育に
関わる。現在は愛知県と愛媛県に4キャンパスを擁する人間
環境大学の入試・広報部で部長代理、入試課長、アドミッシ
ョンオフィサーとして、高校生の進路相談・進学支援を行っている。

LIFESTYLE



二度と取りに戻れない 忘れ物

文・写真 西岡知洋

北星余市で最後の期末テストを控えたある日の夕方、学校
から家に帰るために「旭中学校」のバス停まで来たのだが、私
は忘れ物に気が付いて引き返すこととなった。ため息も、歩
く道も、見渡す限りが白く、それは冬の色だった。

誰もいない教室で、「ここにいるのもあと数日だ」と感傷
に浸りながら、机の中に大事にしまってあった忘れ物を見つ
けた。安どと恨めしさを忘れ物と一緒にかばんに放り込んだ。
さて、次のバスまでまだまだ時間がある。窓の外では雪が降
り始めていた。「……テストの勉強でもするか」と、ノートを
開き授業のファイルを雑にめくった。「ニシオカア、お前ア
タマいいんだから勉強なんかしなくていいだろ！」不意
に聞こえた言葉に顔を上げる。声の主は廊下に立っていた。
1年生の時に同じクラスだった友人。クラス替えがあってか
らは、ほとんど話すこともなくなっていた。そして、自分な
んかはもう忘れられているとさえ勝手に思い込んでいた。う

れしさが込み上げ、「そんなことないよ」と言うのが精いっ
ぱいだった。「頑張れよ」「そっちもね」と言葉を交わし、友
人は私に背を向けて歩き出す。私もノートに視線を戻した。

その友人が学校を去ったと聞いたのは次の日のことだっ
た。言葉を失った。友人はどんな思いで言葉をかけてくれ
たのだろうか。「そっちもね」なんて自分の吐いた言葉の薄
っぺらさを悔いた。友人はあの時、通り過ぎてしまっても
よかったはずだ。話しかけなくなってもよかったはずだ。で
も立ち止まって名前を呼んでくれたのだ。北星余市で、こ
の場所で確かに私たちが関わり合い、出会ったことを忘れ
ないでほしいと言わんばかりに。友人が立っていた廊下を
ぼんやりと眺めながら私はそう思った。

あの日、忘れ物をしてよかった。忘れ物をしなければ、最
後に言葉を交わすこともなかったのだから。それと同時に、
二度と取りに戻れない忘れ物を置いてきてしまったように
思う。「覚えていてくれて、ありがとう」。その言葉は、今
もあの教室に置きっぱなしになっている。また今年も、冬
の色が私を包んでいる。



西岡知洋 | Tomohiro Nishioka

日本キリスト教団余市教会牧師・リタ幼稚園園長。高知県生
まれ小樽育ち。2001年北星余市高校に入学。37期生。大学
時代、「餃子の王将」に携帯電話を忘れたが、それに気が付く
のに数日を要した。その間に大事な連絡が入っており、相当怒
られた思い出がある。

忘れものの本と音楽と映画



大恋愛〜僕を忘れる君と

TBS

最初に思い浮かんだのがこのドラマ。若年性アルツハイマーに侵される女医と、彼女を明るく健気に支える元小説家の、10年にわたる愛の奇跡が描かれます。忘れてしまうつらさ、忘れられる悲しさをすごく感じさせられるドラマ。(田中梨捺)



ヒトラーの忘れもの

マーチン・サンフリート 監督

デンマーク・ドイツ合作で実話。原題の「Under sandet」は砂の下という意味。英題は「Land of Mine」。邦題にある「忘れもの」には深い意味を感じる。重いストーリーではあるが、戦争を知らない現代の人たちには必ず観て考えてほしい。(紺野良子)



アンダーグラウンド

エミール・クストリツァ 監督

とうの昔に忘れ去ったナチスの脅威。そのことを知らずに何年も地下で身を隠し暮らす人たちと、騙し搾取する地上の友人。世界最速のユーゴのブルス音楽と大酒飲みのバカ笑いをバックに、全員テンションやば目の3時間暴走コメディ！しがついてないと振り落とされる！（ひね）



THE FIRST SLAM DUNK

井上雄彦 原作・監督

バッシュの音、ボールがネットを通る音。映像として戻ってきたスラムダンクは忘れていた熱い気持ちをよみがえらせた。「諦めない強い気持ち」はいくつになっても必要。ありがとう、りょーちん。あなたにもう一度出会い直せて、また頑張れそうです。(高濱梨紗)



Bad Day

ダニエル・パウター

ふだん忘れ物をしない僕ですが、肝心な時に、忘れ物を含めうっかりミスをすることがあります。帰ったあとも思い出してさらに落ち込むんですが、その時にこの曲を聞くと気が楽になります。忘れ物もうっかりミスも「今日はついてなかった」、それだけの話です。(福田綱基)



メンコやベーゴマ

メンコやベーゴマを、それはもう毎日やりました。より強くするために自力でカスタマイズするのがおもしろかった。今は課金してより強いアイテムを手に入れますね。でもそれはあらかじめプログラミングされたものの範囲を超えられない。工夫を忘れてしまったのかも。(安河内敏)



約束のネバーランド

白井カイウ 原作

孤児院「グレイス＝フィールドハウス」で暮らすエマ、ノーマン、レイが、コニーという女の子の忘れ物を届けにいき、真実を知り、運命に立ち向かっていく物語です。グロテスクなシーンもありますが、物語がとてもおもしろい作品です。(小杉遼河)



火星の人

アンディ・ウィアー 作

火星に取り残され「忘れ物」になってしまった話。映画『オデッセイ』の原作にもなっています。実際の生活でもサバイバル的なことは好きです。くじけず、そして知識があって応用できれば、生き残れる。学びの原点ともいえますが、単純におもしろかったです。(塚原治)



初音ミクの消失

cosMo@暴走P

ボーカロイドとして産まれた初音ミクが、人間の真似事だったと知ってしまい、失望し歌う希望を無くしてしまう。そして、楽しかった時を思い出して悲しみながら歌を嘆く圧縮された別れの歌。この曲にはいろいろな考察がありますが、僕はこう思っています。(1A 吉岡煌生)



ECHO

Crusher-P

この曲、全部英語なんです。歌詞を見たら何となく歌えるんですけど、覚えづらすぎてすぐ忘れちゃうんです。なぜなら英語ばかりだから(笑)でも曲はふつーにいいんで、ぜひどんどん聴いて全部忘れずに歌えるまで練習してみてください。俺はできました!! (2A 加藤颯人)



Tile (スマートトラッカー)

Tile Inc.

今の自分にとって忘れ物といえば、これ。本当はちゃんと頭のメモリーに、物を置いた場所を記憶しておくべきですが、今は「困ったらこいつを使う」と割り切っています。あたふたしない代わりに何かを犠牲にしているのかもしれませんが、やはり便利です。(今堀浩)



夢の中へ

井上陽水

「探すのをやめた時 見つかる事もよくある話で」この歌詞が忘れ物あるあるだなと思った。探すのをやめたことで肩の力が抜け、自分の周囲がよく見えるようになるから探し物に気が付くのだと考察した。探す過程すらも楽しめる、余裕のある大人になりたい。(2B 八木真斗)



エターナル・サンシャイン

ミシェル・ゴンドリー 監督

この映画は、「記憶除去手術」を受けたことで、状況が一変した男女のお話。記憶の中を描いた映像表現も、とってもユニークで面白いです。前に進むためには、過去に囚われすぎないことが大事。でも、前に進むために忘れない方が、良い過去もあります。(石川ちひろ)



記憶の夜

チャン・ハンジュン 監督

Netflix オリジナル映画。失踪した兄が、記憶を失って帰ってきた！安心したのもつかの間、兄の様子がなんだかおかしい。兄じゃないみたい……。韓国のサスペンススリラーです。忘れてしまった大事な記憶が蘇るとき、上質などんでん返しが待っています。(石田愛実)



メモメント

クリストファー・ノーラン 監督

直近の記憶を10分後に忘れてしまう主人公。しかも物語は過去へ向かって逆に進行していき、見ているこっちも何がなんだかわからなくなり、主人公と同じように混乱した状態に。確か推理サスペンスの話だったよな？ 最後どうなったっけ？と私の記憶も曖昧です。(高野知子)







LIFESTYLE



「ゴリボン」と呼んでくれますか

文 菊地淳 / 写真 辻田美穂子

北星余市高校に務めて34年、初めての担任は就任2年目の26期でした。その時に付けられたあだ名が「ゴリボン」でした。それから33年、生徒、下宿先、保護者からも「ゴリボン、ゴリボン」と呼ばれてきました。最近は「ゴリ」と呼ばれています。変なあだ名で呼ばれたり、「菊地」と呼び捨てにされるより、愛嬌があって、親しみが込められていると自分で勝手に思い込み、本人はとても気に入ってます。町中で大きな声

で「ゴリボ〜ン！」と呼ばれた時はちょっと恥ずかしかったけど、笑顔で声をかけてもらえるだけでもありがたいことです。それがこれからはなくなると思うと、ちょっと寂しい気もします。

26期の生徒とは、今も時々会ったり、電話をしたりしている人も何人かいます。もう30年以上の付き合いになります。56期生とは今後どれくらい付き合っているのだろうか。30年経ったら私は91歳……。

そんなおじいちゃんでも「ゴリボン」と呼んでくれますか？ いつまでも「ゴリボン」が似合うように元気で頑張ります。34年間ありがとうございました。

ゴリボン | Goripon

札幌で28年、余市に来て34年、すっかり余市市民です。小学校の頃に野球を始め、高校では甲子園を目指していました。教師になり再び甲子園を夢見てきました……。気付いたら61歳、気持ちだけは若い元気な「おっさん」です。

COLUMN

写真を撮られる時って、こうしたいと思っても実際はなかなか思ったとおりに写りませんよね。今回はそんなギャップを埋めるのに苦労した話。

毎回特にテーマは決めずに撮っているのですが、今回は「アウトロー」がテーマ。私が背景に写る段ボールを動かして雑然とした雰囲気をつくっていると、「アウトローってことね！」と誰かが言ったので、自然と決まりました。アウトローの意味を調べてみると、無法者。つまり「ワル」ってことですが、今回のメンバーは、休み時間になるとこの職員室のソファに集まって、トランプなどのゲームや物ボケをして遊んだり、ただただおしゃべりをしているほっこりチーム。悪そうな雰囲気を醸し出すのは、なかなか大変だったようです。

まず向かって左側のソファに座っている愛大くん。堂々とした座り方が大御所ラッパーのようだったので、そのまま姿勢をキープしてもらいました。その隣のソファに座っている京右くんは、すべてを受け入れる仏様のような、優しいアルカイクスマイルがなかなか消えません。「俺、口角上がってるから常にこの顔なんすよ〜」とのこと。それはそれですてきだけど、今回のテーマはアウトロー……仏とは対極にあるものですね。最後はサングラスをかけ隙間からにらみを利かせて、物の

辻田美穂子 | Mihoko Tsujita

大阪から移住した写真家。北星余市でのたくさんの出会いを通して人生が変わったひとりです。今年の春に余市からせたなに引っ越して子育てしながら、時々赤ちゃんを背負って撮影に出かけています。

力に頼りました。その後ろの歩くんは、私が悩んでいると「こんな感じは？」と提案してくれたポーズがパチッとハマったので、すぐに決まりました。たまたまつけていたアクセサリがワイルド感を演出しています。一番左の宮尾くんは、私の「デコボコさせたい」というオーダーに、「こんな感じ？」とソファの横に腰掛けてくれました。シャッターを切って、みんなで写真を確認してみると、宮尾くんの足が美脚であまりにも優雅に組まれていたので、「アウトローじゃなくてマダムやん！」とのツッコミが。その結果、後ろから歩いてきて、どかと座るということを何度も繰り返し、足への意識を減らしてもらいました。撮っては確認を繰り返すうちに、目指しているものが見えてきたようで、みんなの

一体感が頼もしい撮影でした。

星しんぶんが始まった頃は、私がすべてポーズの指示をしていましたが、最近はこうして話しながら、少しずつ微調整してみんなでつくり上げています。「一緒にやってみたい！」という方……ぜひ声をかけてください！



カメラマン美穂子

表紙写真の「お裏」

LIFESTYLE



忘れ物 / 忘れてはならないもの

文 宮本元仁 / イラスト 石川ひろ

我々日本人は「忘れ物」をしてしまった時、「戻ってくる」ことを期待する人が多いのではないだろうか。少なくとも私はそうだ。記憶にある限り、「忘れ物」をして結局戻ってこなかったケースのほうが少ない。

20代初めくらいに、レストランか喫茶店で数万円入った財布を置いてきてしまったことがある。店を出て数時間後に持っていないことに気付いた。その店に忘れたかもしれないと思い戻ってみると、店の人が「これかい？」とそれを渡してくれた。このようなことは、どうやら日本だけのようだ。その数年後に海外旅行をした時、現地のガイドに次のように言われた。「パスポートはホテルの金庫に。財布などの貴重品は各自の責任で。もし落したり盗られたら、戻ってくることはない」というような内容だった。海外はそんな感じらしい。



なぜ日本だけがこのような国民性になったのか。私たちの祖先は、毎年のように地震や台風等の自然災害に見舞われる国土という環境に対応し、耐えてきた。そして目に見えないものを敬い畏れる「天罰」という感覚を持ってきた。そのことが国民性を醸成してきたのだろう。上記のこと以外でも、他人や他国との関係の持ち方について、日本は世界に誇ることができるし、また、一部を除いて海外からそれなりに評価されている。このことを我々は決して忘れてはならない。そして、我々日本人の筋の通った考え方に基づいて、必要な段階をきちんと踏みながら、本当の意味での世界平和を実現していきたいものだ。

余談だが、今の私にとっては脳内の忘れ物が大问题。特に短期記憶はいただけない。数字やアルファベットの組み合わせは4文字が限界。この数年間、なんちゃらID、アカウント、パスワード等が私を苦しめる。「忘れ物」だらけだ。メモが欠かせない。あげくの果てに、そのメモがどこにあるのかを忘れる。脳にメモリーチップやSSDを埋め込みたい。



宮本元仁 | Motohito Miyamoto

2021年3月まで主に中学校の教員、免許は英語、得意技はalphabet clinic。現在は青少年対策室でシーガルの担当。勤務時間以外は、YouTube等の動画や映画、時々読書という生活。天ぷらそばが大好き。



ほし 星 しんぶん 感想募集！

星しんぶんを発行し始めてから今年で5年目となりました。札幌のデザイン会社3KGの方と、カメラマンの辻田美穂子さんとともに制作しています。どのようにしたら北星余市らしさが伝わるのかを考えた時に、デザインや写真に人の思いを乗せることができると知り、少しでも多くの人にその思いを届けられたらと思っています。皆さんにも届いているといいなあ。そこで、皆さんがこの新聞を読んで、どのように感じているか、教えていただけたらうれしいです！ささいなことでもかまいませんので、QRコードよりぜひ感想をお寄せください。お待ちしております！



REPORT

総合講座発表会

総合講座は2、3年生が受講対象で、現在16講座あります。毎年この時期に、みんなの前で1年間の活動を発表します。山登りやダンスのようにアクティブなものから、和装や社会福祉など、その分野はさまざま。講師には、本校教員だけではなく、外部からも経験豊富な方々に来ていただいています。



「世界の文化をのぞいてみよう」の講座のひねさんは、ニューヨークに12年ほど住んでいました。各国の料理を作ったり、映画を観ることで、その国の文化に触れ、国による価値観の違いを見つけていきます。国際交流のイベントに参加したりもします。今年から開講した「英会話」の講座では、ネイティブの先生とオンラインで授業を行います。海外に興味を持っている生徒も多く、英語や海外に身近に触れる機会があることは、生徒にとってとても貴重な経験です。

「ぶどうのおしごと」の講座の笠先生は、ご自身のワイナリーを持っていて、ワイン醸造をしているその道のプロ。苗木を育成することから始め、卒業し成人を迎えたら、後輩たちが作ったワインが先輩たちへと贈られます。この講座を受講したことでワイン醸造に興味を持ち、その分野の専門学校に進学した生徒もいます。

物作りが好きな人には、「ホームメイキング」もお勧め。桜の花びらを使用したり、クリスマスリースの製作など、季節を感じながら物作りができます。「ヨット」の講座では、北海道ならではの自然を味わうことも。

このように総合講座では、ふだんとは異なる授業の中で、新たな視点や気付き、興味、可能性を広げていきます。可能性が広がることで、おのずと選択肢が広がります。選択肢が広がることで、今まで想像していなかった自分の未来や、新しい道が開けるのではないかと考えます。来年度は新たに2つの講座が開講となるので、楽しみです。

QUESTION

おのざわ先生に きいてみよう



Q 人生最大の忘れ物は？

A 「元氣」「短氣」「気が散る」「集中力がない」「落ち着きがありません」。小学生の頃、私の通知表に並んでいたコメントである。窓の外を眺めて飛行機雲を探したり、てんとうむしを目で追ったり、友達のしぐさや給食、放課後の約束、そんなことばかり気にしていたので、ろくに先生の話など聞いていなかったのだろう。定規やはさみ、コンパス等々、私の忘れ物は日常であった。隣の子が貸してくれてその場を切り抜けることもあったし、窓から抜け出し、校門からわずか50mの自宅にダッシュで取りに帰ることもよくあった。そう振り返ると、通知表に並ぶコメントは、そんな私の行動を先生たちはよく見ていたのだろう。で

も、私が今思い出す「忘れ物」は、そんなことではない。

体が大きく短気な性格であった私は、決して温厚な人間ではなく、乱暴者であった。誰かにそのようなふるまいを教わったわけでも、強制されたわけでもないが、素直に人の言うことを聞いたり、おとなしく指示を待つということが苦手だったのだと思う。それに、誰かに優しくすることや、ましてや誰かに褒められるような行為をすることは、何となく気恥ずかしく、そうは思われたくないと考えていたような記憶がある。今思えば、自分がどのようにふるまうべきなのか、どのように答えるべきなのか、自分をどう演じるべきなのかがわからなかったのだろう。

しかしそんな私にも、常に手を差し伸べてくれる人々がいた。友達や先生、近所のおばちゃんに両親、今振り返ると多くの人に助けられてきたのだ。しかし当時は、その差し伸べられた手に「ありがとう」や「ごめんなさい」を素直に返すことができなかった。小さな子どものプライドか、幼い強がりかわからないけれど、私は素直になれなかった。私が忘れてきたもの、渡し損ねてきたものとは、「ありがとう」であり「ごめんなさい」である。それが言えていたら、伝えられていたら、もう少し人見知りを克服できていたのかもしれないと、時々考える。

INFORMATION



学校見学を 随時受け付けています。

受験を考えるにあたって気になるのが、実際の学校生活。生徒がどんな学校生活を送っているかを実際にご覧いただけます。本校では、土日祝日を除く9:00～17:00までの間であれば、基本的にいつでも見学が可能です（例外もありますので必ず事前にお電話でご確認ください）。そして見学するなら平日がお勧め。なぜなら、生徒たちのふだんの様子が見えるからです。授業の様子、休み時間の様子、寮や下宿での生活など、ありのままの姿をご覧ください。そして自分がその場にいることをイメージしてもらいたいと思います。

ほとんどの方が下宿も見学しています。

「せっかく北海道まで、せっかく余市まで来たのだから……」と、住む場所となる寮や下宿を訪問される方がほとんどです。学校見学終了後に、下宿見学も希望される場合は、その旨お伝えください。所要時間は、移動も含めて1軒につき約30～60分。多い方で3軒くらい見学されます（たくさん質問される方、じっくりご覧になりたい方はもう少し時間がかかります）。余市町内の地理感覚や車などの交通手段のない方のために、寮・下宿の管理人さんが学校まで迎えに来てくださる場合もあります。詳しくはお電話でお問い合わせください。

ご希望の方は、事前に入試担当までご連絡ください。

0135-23-2165（職員室直通）
nyushi@hokusei-y-h.ed.jp

INFORMATION

定額寄付のお願い

日頃より本校の教育にご支援ご理解いただき感謝申し上げます。北星学園では、昨年末より「クレジットカードによる定額寄付」を始めることとなりました。「毎月1,000円程度でも寄付することで、余市高校の教育を支えたい」とお考えいただけたら幸いです。ぜひご協力いただければと思います。

いただいた寄付の使いみちとして、学習環境の整備や施設設備の充実といった形で生徒に還元し、より実りある高校生活を保障するためのものとしていきます。全国からさまざまな事情によって余市高校に集まる若者が、学校行事や寮生活を通じた関わりの中で成長する環境を今後も継続していけるよう、皆様のお力をお貸しください。

寄付金の使途	寄付金額
教育環境の整備資金	1口 千円

寄付方法



インターネットから
(クレジットカード利用)

学校法人北星学園のサイトからお手続きください。インターネットによる申し込みの場合は寄付申込書の提出は必要ありません。



それ以外
(現金、銀行振り込みなど)

下記電話番号までお問い合わせください。

0135-23-2166（事務室）

編集後記

今年度も何とか3回発行することができました。星しんぶんに関わってくださったすべての方、そして読んでくださっている皆様、本当にありがとうございます！先月私は大きな忘れ物をしてしまい、いまだに見つかっていません(涙)皆さんもお気をつけて！（高崎麻美）

「嫌なことは忘れる」、私の特技です。うーん、ずっと特技だと思ってましたが、時々忘れたくない苦いことや辛いことに遭遇します。成長するために越えるべき壁というか、今後のためにこの痛みは覚えておきたい、みたいな。経験を教訓にして、メラメラ生きる人間になりたいです。（石川ちひろ）

hoshiiii

ほし
星 しんぶん

発行日：2023年3月2日(木)
発行元：北星学園余市高等学校

北星学園余市高等学校

046-0003
北海道余市郡余市町黒川町19丁目2-1
Tel. 0135-23-2165（職員室）
Fax. 0135-22-6097（職員室）

www.hokusei-y-h.ed.jp



日々の学校生活の様子を
更新しています
ブログ
北星余市は、いま！



動画で観る北星余市
北星余市
YouTubeチャンネル



卒業生がいかに
生きているか
ウェブマガジン
STAR RECORD

